学校番号	３２７

令和８年度　総合科（普通科）

教科	総合	科目	グローカルリサーチ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）
校内敷地にある森を利用し里山の生活を地元森林ボランティア　「トモロス」の協力、指導の下に学び地域連携しながら自然とのかかわりについて考察していく。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日常生活や社会との関連を図りながら，日本古来から続く里山を取り巻く環境について理解するとともに，実習を通じて里山を維持するための基本的な技能を身に付ける
【思考力、判断力、表現力等】
・観察，実習などを行い，自然と共存する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
・里山を取り巻く環境に主体的に関わり，自然環境の保全に寄与する態度を養う

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	里山の生活を知る、樹木の伐採、植性調査、安全配慮しながらの森林整備を行い、里山を維持するための知識や技能を身につける。	里山を守り、維持するためにどのようなことが必要なのかを考えることができる。また、森林整備において、特に重要な樹木伐採時の安全配慮、どのように樹木を伐採し森林をより良い形で維持するかを考えることができる。	里山とはどのようなものであったかを学ぶことにより、日本人が古来よりどのように自然とかかわってきたかを知り、今後の自然とのかかわりを模索する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期		里山とは 道具の使い方 森林整備	a:日本古来の里山と人の関係の歴史や仕事についての知識を身につけている。 b:森林整備に関する道具の使い方や種類について学び、適切な使い方ができる。 c:意欲的に実習に取り組むことができている。	レポート	レポート 発表	日々の取り組み 振り返りシート
二学期		森林整備 ロープワーク 植生調査	a:森林整備の意味や大切さについての知識、植生調査の方法、ロープワークについての知識を身につけている。 b:森林整備に関するロープワークの方法や種類、植生調査の方法について学び、実際に実習することができる。 c:意欲的に実習に取り組むことができている。	レポート	レポート 発表	日々の取り組み 振り返りシート
三学期		竹細工 シイタケ栽培	a:森林整備ででた廃材の利用の仕方を理解することができている。 b:廃材を利用したシイタケ栽培や竹馬や竹トンボなどの日本古来の竹細工だけでなく、新たに廃材を利用したものづくりを考えることができる。 c:意欲的に実習に取り組むことができている。	レポート	レポート 発表	日々の取り組み 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度